

「米騒動 in 川越」

坂口 裕靖

「いやー、お米食べてます?」「それがさー、なんか近所で全然売ってないんだよね」「ですよー。いつ頃からなかったです?」「うーんとね、そもそも気になりだしたのは7月の下旬なんだよね」「ほお?」「近所のスーパーがさ、だいたい25日ぐらいから、お米の2割引セールやるんだよ。だからまあ、この時期に1ヶ月分買い込むことが多いんだけどさ。この7月はちょっと様子が違ったんだよ」「どう違いました?」「2割引が開始となった7月26日に、5kgのお米がすべて売り切れて、棚が空っぽになったんだ」「ほお」「それまでも、特定の銘柄が売り切れるとかはよくあったんだけどね。なんか5kgのお米が全種類売り切れて、棚はからっぽ。一方2kgの袋の方はまだまだ残ってたんで、そこまで焦りはしなかったんだけど、ちょっとびっくりした。違和感感じたのはこれが最初だったかな」「まあ

確かに2kgは5kgに比べると割高でもんね」「よく売れるなーとは思ったけど、まあ翌日にはまた並ぶでしょ、とか思ってたんだよ」「まあ普通そうでもんね」「ところが3日後の7月29日。ほとんどのお米はやっぱり売り切れてたんだけど、ほんのいくつかの銘柄は5kgの在庫があったんだよ。いずれも2割引の対象外だったんだけどさ。でもね、本来お米の棚が2段あるうち、下の段に全部レトルトのお米が突っ込まれてたんだ」「レトルト!?」「そう、生米じゃなくて。さすがにこれ見て、あ、こりゃいかんと思ったよ」「調達が難しくなつたんでしょね」「たぶんね。張り紙が出て、各家族あたり各日2袋に制限、とか出てたから、表に出てる在庫しかなかったんだろね」「いやー米不足ですね!」「本当だよ。たまたま、6月に1袋多めに買ってあったから、とりあえずそれで8月の前半

は持ちそうだったんだけど、後半には食べきっちゃうことが明らかだったから、それからはもうどこで売ってるか探したよ」「8月に入るともう、ほとんど売ってなかったでもんね」「そうそう。どこに行ってもあるのは餅米か玄米、しかも2kgの袋ばかり。うちはさ、普段ミルクQueen食べるんだけど」「ほう?なんでまた?」「ん?いやさ、この銘柄、冷や飯が柔らかいという特徴があるんですね。ボンボンにならないの。それが良くてこの銘柄にしてるんだけど」「ふんふん」「でも、この状況だとそこのスーパーじゃ一切手に入らないわけ。とりあえず近隣のお店とか、近くの街のスーパーとか回ってみたけど、どこにもなんにもない状態。あんときは困つたねー」「うんうん、大変でした」「それでも所沢のスーパーで、たまたまミルクQueenの2kgを売ってるのを見つけて、すかさず確保。

One Point BUZZ WORD

100mm/H

今年の夏は毎日夕方になるとゲリラ豪雨が降る毎日でした。これってもうスコールじゃないですか?私が小学校のころは、熱帯地方ではスコールがあるとか教わって、どんなもんだか色々想像をめぐらしたのですが、なんか関東地方のスコールはそれどころじゃなく、内水氾濫含みの大変な状態です。

この8月7日、所沢まで出かけた帰りの19時ぐらい。100mm/Hクラスのゲリラ豪雨に見事に捕まりました。ウェザーニュースのレーダで見ると画面が真っ赤。ミンスク仮面も真っ青な状況です。そもそもこのレーダ画面、色分けの最上位が60mm/Hとなっていて、実際には100mm/H程度の降雨だったのだと思います。もうね、ワイパーが全く役に立たず、最速にしても前がちっとも見えません。危険だったので途中のコンビニで、

ゲリラ豪雨の中心部が通り過ぎるのを小一時間待ちました。ピークをそれでも数十mm/H程度の降雨だったと思いますが、なんとかワイパーで前が見える状態。所沢から川越へ向けて草刈街道から狭山中央通りへと進んでいくと、なんと道路が冠水してます。水深は数センチで大したことはなく、幸い道路の端がわかる程度ではありましたが、あれもう数センチ深くなってたらどこまでが道路かわからなくて、大変危険だと思いました。幸い狭山中央通りは歩道沿いに植栽があるため、道路の端がわからなくなることはないとは思いますが、知らない道だったら大変危険ですね。たった数センチとはいえ、車が動くと波ができ、それが道路の左右に向かって進んでいきます。前を走っていたバイクの人は、この波に翻弄されてました。冠水は小一時間もしないうちに水が引いていったので、そこまで大きなトラブルにはならなかったと思いますが、現在でも道の所々にちいさな陥没があり、もしかすると地下部分がかっそり削り取られてるのかもしれない。今から来年が恐ろしい...



これがなければ米が切れるとこだった」「あー良く手に入りましたね」「運が良かったよ。そんなこんなで8月中旬、ついにストックが切れそうだったので、今まで行ってなかったところを攻めてみることにしたんだ」「行ってなかったところ?」「ほら、それまでスーパーしか見てなかったんだよ。それでも川越周辺だと、まだまだ野菜の直売所とかあるじゃない?そういうところはないかな、と思って行って見たの」「ほう」「そうしたら、大当たり。所沢に『食の駅』っていうのがあるんだけど、そこで玄米をその場で精米して量り売りしてたんだよ!しかもミルクキーンがあるの」「ほお!」「思わず買ったよ。5kg買ったんだけど、よく考えると玄米の5kgなんで、精米すると5kgを確実にきるんだよ。だから白米で5kgほしかったら、6kgで頼むべきだった。でもさ、その時はそこまで頭がまわらなくて。なにしろ売ることがありがたかったね」「ほう。値段的にはどうでした?」「ミルクキーンって、大体5kgで2,780円とかなんだよ、普通は。それを2割引の日に買うと2,200円ぐらい。

一方、食の駅での量り売りは、8月10日の時点で1kgあたり496円だった。5kgで2,480円だから、実質4kgだとしてもスーパーとあんまりかわらない値段だったわけ」「精米したって考えるとお得かも」「そうだね。一方8月下旬になると、今度はスーパーの棚に切り餅が並び始めたね。レトルトパックすら在庫が危なくなっただけじゃないかな、あれ」「切り餅か...まあ確かに年末に向けて徐々に仕入れてるのかもしれないけど」「確かに材料は米だしね。でも餅米であって、うるち米じゃないからな」「米粒食いたいという要求には答えきれないですね」「まあ、スーパー側もわか

ってそれしかできなかつたんだとおもうけど。必要なチネレと」「まさか...」「でまあ、4kg確保はしたんだけどやっぱり足りないじゃない?だからまた食の駅へ行ったわけよ」「そしたら売り切れてました?」「いや、幸いなことにまだ売ってた。しかも『新米入荷』って札すらかかってた」「あー、良かったですね」「いやほんと。そんで買おうとしたら、今度は『1家族あたり5kgまで、玄米もしくは標準精米のみ』って張り紙が。やっぱり皆、探して買いに来てたんだろうね」「そりゃまあそうでしょう。しかもそこそこ安いわけだし」「いやいやいや」「へ?違うんですか?」「それがさ、買ったのは8月27日なんだけど、この日のレートは1kgあたり820円。65%増しだよ」「おっと...そりゃ新米だからですかね?」「さあ?そもそもここで毎回買ってるわけじゃないから、値ごろ感なんてわかんないよ。でもまあ、買ったのは大変ありがたかった。ここのシステムだと、最初にどの銘柄を何kg買うか、どう精米するかを伝えると、チケットみたいなのをくれるんだよ」「チケット?」「うん、バーコードがついてて、これで先に会計だけして、精米が終わったらピックアップするっていう感じ」「ふーん」「よく知らなかつたんだけど、やっぱり精米するのに時間がかかるんだね。そいでもってお客が集中してるから、係の人もなんかもうわやわやになってるわけ。最初45分ぐらいいたら取りに来てくださってというから、余裕見て50分ぐらい待ってから受付のところに行ったんだよ」「ふむふむ」「精米が終わったやつはビニール袋にはいって、袋になにになに様って名前がかいてあるんだけど、自分の袋が見当たらないわけ。仕方ないから係の人に聞いたら、『えっ...ちょっとお待ちを...』とかってなんか帳面確認しだして、『あっ... すいません忘れてまし

た、今すぐ、いや、これ終わったら次にやりますので、すみませんすみませんすみません』とかって感じ」「いやーだいがテンパってますね」「大変だったみたいよ。玄米機械に突っ込んでボタン押して、精米してる間に次の客の注文聞いて、次に処理する玄米の重さを測ってキューに突っ込んで、とか延々やってるもの。精米地獄っていうのがあれば、まさにアレだと思う」「大変だ...」「まあそんな感じで8月末にもう1袋、まあ4kgぐらいだけどなんとか入手できたから、今のところはなんとか米を食べ続けられてるってところ」「いやー良かったですね」「本当だよ。たまたま食の駅で買ったから良かったけど、その後他の直売所とかもまわってみたんだ。そうしたら、精米して販売するコーナーはあるんだけど、どこも肝心のお米が入荷未定で開店休業状態だった」「まあこれから新米が出てくるでしょうから、徐々に改善はされるんじゃないですかね」「そうだね、この夏はお米のありがたみを心底感じたよ...そういえば、そっちはお米大丈夫だったの?」「いや、全く問題なかったです」「ほう、たいしたもんだね。何、どこで買ったの?」「買ってないっす」「ん?」「ほら、夏って食欲無くなるじゃないですか。そうめん、そうめん、そば、うどんを夏を乗り切ってるんで、米騒動とは無縁な夏でした」「そうなの?でも麺ばかりだと飽きるんじゃない?」「大丈夫、ヤマザキの『うずまきロールケーキ』がありますから」「カロリーン」

Hiroyasu Sakaguchi
フリーITエンジニア